

白門ライオンズ会報

Quarterly of Lions 2019.10-11-12 No.19

東京白門ライオンズクラブ <http://hakumon-lions.org/>



中央大学

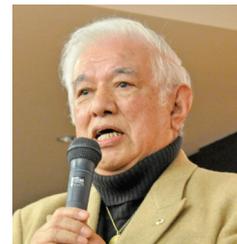
東京白門ライオンズクラブ

TOKYO HAKUMON LIONS CLUB

寄稿

日本・我が祖国を思う

終身名誉会長 中山 正暉



昭和天皇崩御後、喪に服し悲しみに沈んだ国情を体験された明仁平成天皇は、皇室の歴史をも勘案、上皇制度を御提言、特別法制化が実現して生前譲位され第126代徳仁天皇が践祚されました。

第98代安倍晋三首相は第15代桂太郎首相を凌駕、歴代最長在任期間の安定政権を築きました。顧みて日本が悲劇の時代へ踏み出したのは第二次世界大戦の時代です。

1939年(昭和14年)9月3日、英仏が独に宣戦布告して開始され、1941年(昭和16年)6月22日ヒトラー独逸がソ連に宣戦布告しました。半年後の12月8日、日本が真珠湾への奇襲攻撃で対米戦争を開始、日独伊三国同盟で連動して次いで独逸が11日に米国に宣戦布告、世界大戦へと発展しました。

日独伊、そして当初はスペインと日本の傀儡政権満州国・王兆銘の南京政府も加えて6カ国同盟でしたが、のちにスペインは中立宣言をしました。

イタリアは1942年(昭和17年)7月10日シシリーから上陸した米英に敗北、ムッソリーニはビットリオ・エマニエル3世国王から解任。山岳地帯へ幽閉されドイツ特殊部隊が救出、北イタリア・サロで社会共和国建国を宣言。イタリアは、カステラーノ元帥が秘密裏に連合国に無条件降伏して、国王はパドリオ元帥を新首相に任命、ドイツに宣戦布告をしました。

ムッソリーニはドンゴでパルチザン将校バレリヨにより愛人ペタッチと共に4月28日に銃殺され、遺骸はローマで逆さ吊りの晒し物にされました。61歳でした。その後イタリアは共和国となりました。

1945年(昭和20年)4月30日、ドイツではヒトラーがソ連軍包囲下のベルリンの地下壕で愛人エバブラウンと正式に結婚、即刻自殺しました。56歳でした。

遺言でデーニッツ提督を後継に指名していましたが許可されず、連合軍により逮捕。ドイツ第三帝国は同年5月7日、本土を蹂躪され12年で崩壊、国が消滅。漸く30年前のベルリンの壁が崩れて

東西ドイツが統一、新しい国になりました。

日本は尊王を掲げて明治維新政府が帝政憲法を施行しました。立憲君主制のもと、明治政府は旧大日本帝国憲法第55条により天皇に対して国務大臣の輔弼と法律・勅令。詔勅すべてに副署をと規制されていました。

昭和天皇のお人柄とお立場をも理解した連合軍が、戦争責任を非訴追としました。

1936年(昭和11年)二・二六事件の陸軍の反乱に、時の岡田啓介首相が行方不明、9名の政治家の暗殺に反乱軍鎮圧戒厳令の成功は昭和天皇のご英断でした。

日本本土決戦を阻止するご英断は、御前会議で鈴木貫太郎首相の「陛下御聖断を」のご進言に応じてくださった裕仁昭和天皇のご存在があってこそ。

日本が敗戦後も国家として継続、戦争犠牲者、沖縄の悲劇、広島・長崎への原爆の受難、銃後の同胞の為に山野に身を晒した英霊と未曾有の悲劇を味わいましたが、国体の維持とポツダム宣言受諾後のソ連の対日宣戦布告による、残念ながら未解決の北方領土以外の国土が確保されたことを同慶として回顧しています。



▶ 中山終身名誉会長自作の資料

「東京白門ライオンズクラブ」 クラブ運営に関する検討委員会提案事項

伊東敏会長のもと検討委員会7回開催の結果、2019年12月末に提案がまとまりましたので掲載いたします。委員会参加のメンバーの方は業務多忙のなか、大変ご苦勞様でした。提案についてはメンバー皆様方のご意見を委員会にお寄せください。

委員会メンバー＝伊藤尚L・大久保英彦L・横井弘明L・河野信之L・井原俊二L・増尾知恵L・増淵秀一L・茂岡幹弥L・小平康代L・木村具生L

項目	問題意識と課題	提案事項	変更時期・実施の進め方
年会費のレベルと配分	<ul style="list-style-type: none"> ① 現行の年会費20万円が高いとの意見あるも、5大学比較では妥当な水準 ② 例会費へ負担が年会費の60%で削減が望ましい 現行月2回の夜例会の会員一人当たり年間コスト(6,900円×22回×平均出席率75%=120,000円) ③ 運営費が膨張気味で、削減管理が必要 ④ アクティビティの財源確保が難しく、ドネーション頼み 	<ul style="list-style-type: none"> ① 現行年会費20万円を据え置く ② 但し、年会費の配分目標を以下の通りとする <ul style="list-style-type: none"> －例会費 10万円 (50%) －国際本部・330-A地区会費 2万円 (10%) －運営費 5万円 (25%) －アクティビティ 3万円 (15%) 合計 20万円 (100%) ③ アクティビティ財源は、別勘定として分離管理する 	<ul style="list-style-type: none"> ① 年会費の配分目標について、本年度中に会員相互の理解と賛同を得る ② 本年度中にアクティビティ専用の銀行口座を開設し、2019年7月に遡り、年会費の15% (会員一人当たり3万円) を振替え、分離管理する
例会の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ① 例会費を年会費の50%以下ないし10万円以下に抑制するための施策として、昼例会の導入を検討 ② 夜例会1回、昼例会1回のコスト見積りは、以下の通り 夜例会 6,900円×11回×75%= 57,925円 昼例会 5,000円×11回×75%= 41,250円 合計 100,000円 ③ 昼例会を行っているクラブもあり、当クラブでも財政負担軽減のため、昼例会を導入する合理的理由が存在する 	<ul style="list-style-type: none"> ① 例会費抑制のため、昼例会を導入する ② 昼例会を導入する場合、夜例会と同じ会場を前提とする ③ 現行の銀座東武ホテルでの夜例会及び昼例会の開催が最も望ましいので、昼例会を消費税込みで5,000円以内で受諾してもらうよう交渉する ④ 銀座東武ホテルとの交渉がうまくいかない場合、別の会場への変更を検討する(候補先:東京ガーデンパレス、シーボニア等) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 銀座東武ホテルとの交渉が成立する場合、来期から昼例会を導入する ② 銀座東武ホテルとの交渉が不調に終わる場合、今期中に会場の変更を検討し、来期からの導入の準備作業を行う
昼例会の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ① 昼例会を開催する場合、現役の仕事を持つ会員の参加の割合が低くなる懸念があるが、時間の調整可能な会員も見られる ② シニアの会員は、夜2回の例会参加は負担感が否めず、昼例会の導入を歓迎する傾向にある 	<ul style="list-style-type: none"> ① 昼例会はアルコール抜きの昼食とする ② 昼例会は、午前11:30～13:30の時間帯とする ③ 昼例会の前半は、理事会とし、参加者全員で必要事項の審議及び執行部からの報告事項を検討する ④ 昼例会の後半は、原則会員相互の情報交換、親睦の場とするが、要望に応じ適宜スピーカーを招聘する 	<ul style="list-style-type: none"> ① 銀座東武ホテルとの交渉成立を条件として、本年度下期に1～2回上記提案要領により昼例会を試験的に実施し、来期からの昼例会導入の実効性を確認する ② 銀座東武ホテルとの交渉が不成立の場合、本年度中の昼例会の導入テストは行えないので、来期からの導入準備のみを行う
理事会の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ① 現行、夜例会の前に5:15～6:00の時間帯に行われている理事会は、重要案件を審議する役割を果たしているが、例会を合わせて3時間以上の時間確保が必要となり、現役の会員の参加が難しく、理事会への参加者が固定化する傾向となっている ② 全員参加の意思決定プロセスは不可能であり、3役と参加可能な理事による意思決定プロセスが実態となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ① 昼例会を実施することとする場合は、夜例会の前の理事会を開催せず、理事会を昼例会に吸収する ② 昼例会での理事会決議事項を夜例会において報告することで、より効果的な理事会運営が可能となる 	<ul style="list-style-type: none"> ① 来期から昼例会を導入する場合、理事会審議は例会の中で行う ② 本年度下期における昼例会の導入テストにおいて、理事会の昼例会への全面的吸収が可能かどうかを確認し、来期からの移行に備える
拡大理事会の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ① 現行シーボニアで行われている拡大理事会(11:30～13:00)は、3役を中心として理事会の事前協議の場となっている ② 拡大理事会の本来の趣旨は、例会に参加できなかった会員がクラブ運営の状況等をキャッチアップする機会となる配慮とのことであるが、そのような趣旨で参加する会員は限定的である 	<ul style="list-style-type: none"> ① シーボニアでの拡大理事会を昼例会の理事会に吸収する ② 昼例会における理事会の充実により、拡大理事会の吸収が可能と考えられる ③ 但し、3役は、必要に応じてシーボニア等による個別会合により、昼例会における理事会の事前協議を行うことは必要かつ有効である 	<ul style="list-style-type: none"> ① 本年度下期における昼例会の導入テストにおいて、拡大理事会を昼例会における理事会に吸収することが可能かどうかを確認する ② 3役その他イベント対応の理事等は、適宜連携の上シーボニアその他で個別会合を行う
アクティビティの在り方	<ul style="list-style-type: none"> ① 当クラブは、「白門」ライオンズクラブとの命名の通り、中央大学出身者による中央大学への支援活動を行うことを設立趣旨とし、過去15年ほぼその路線を踏襲してきた。その結果として、当クラブは中央大学から高い評価を受けている ② 一方、国際本部、330-A地区のメンバークラブとしての存在意義(社会への奉仕)と立ち位置を維持するため、アクティビティをより柔軟に行うことも必要ではないかとの意見も根強く、再検討の余地がある ③ 5大学のライオンズクラブの幾つかは、大学以外への奉仕活動を実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ① 当クラブのユニークな存在意義を継続し、これまでどおり中央大学関係の支援活動を中心として行う ② 同時に、社会奉仕活動の一環として、また、国際本部、330-A地区のメンバークラブとしての存在意義を喧伝するための活動も併せて行うこととする。具体的には、以下のような活動を検討する <ul style="list-style-type: none"> －中央大学構内での献血活動 －中央大学構内での骨髄バンクの登録会 －骨髄バンクへの寄付の継続 ③ 柔軟なアクティビティ方針を取ることににより、会員の増強、会員の 	<ul style="list-style-type: none"> ① 本年度下期より柔軟なアクティビティを実施する ② アクティビティとしての支援金は、アクティビティ専用の銀行口座から支出する
ドネーションの使い道と道理	<ul style="list-style-type: none"> ① 現在会員、ビジター等からのドネーションは、分別管理されておらず、運営費、例会費等と混合管理されている ② ドネーションは、その意義から見て、社会奉仕その他のアクティビティ固有の財源とするのが望ましい 	<ul style="list-style-type: none"> ドネーション意欲の向上に資することが可能 ① ドネーションをアクティビティ専用の財源とするため、アクティビティ専用の銀行口座に分別管理する ② ドネーションは、年会費の内アクティビティ用として分離した財源と合わせて、アクティビティのみに使う財源として、その収支の明細を明らかにする。イメージは、以下の通り 収入: 年会費振替 (15%) xxxx ドネーション xxxx xxxx 支出: 中央大学 xxxx その他 xxxx xxxx 	<ul style="list-style-type: none"> ① 本年度7月に遡り、ドネーションをアクティビティ専用の銀行口座に振り替える ② 本年度決算より、アクティビティの収支明細を会員に開示する
運営費削減の施策	<ul style="list-style-type: none"> ① 運営費は、昨年度実績ベースで、総額3.3百万円発生し、年会費に対する一人当たりの負担割合は、30%、6万円相当となっている ② 運営費は、固定費化している部分が相当あるので、継続的な削減努力が必要となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ① 運営費を年会費の20～25% (5万円以内) レベルに抑制するために、以下の施策を実施する <ul style="list-style-type: none"> －会報発行を年4回から2回にする(削減効果20万円) －会員への通信の合理化による経費削減 －図書印刷の効率化と印刷費の削減のため、レーザープリンターを購入する －その他 	<ul style="list-style-type: none"> ① 本年度より実行可能なことから実施する
会員増強の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ① ここ5年間、会員数は横ばいの状況となっている ② 会員の増強は、特定の会員に依存する傾向となっており、組織的な活動が行われていない ③ 会員増強担当の委員はアサインされているが、特別な活動は行われていない 	<ul style="list-style-type: none"> ① 会員増強委員会に活動プランの検討を依頼する 	<ul style="list-style-type: none"> ① 本年度より実行可能なことから実施する

2019年10月9日(水) 第一例会報告 於銀座東武ホテル(芙蓉)

2019年10月9日(水)銀座東武ホテルにて、10月第1例会が行われました。伊藤会長は9月30日のガバナー公式訪問例会の前にクラブ幹事長会議にご出席。総勢30名位の出席者の中で伊賀ガバナーから話があり、国際本部はスペシャリティークラブ(我々のようなクラブ)を推奨しており、5大学クラブ(スペシャルティークラブ)会員増強について、本部の増強委員会から、7月から1名減少したので募集するようにとメールがあったとのこと。今のライオンズクラブは増強が大事であり、そのためには、様々なゲストスピーカーを呼んで楽しい会にしたいそうです。

小平L推薦で中野区副区長の白土純さんがビジターで訪問。彼は昭和60年法学部法律学科卒業で、渥美東洋先生に習い、そのなかでも議論好きなのだそうです。今日の中野区は整備が進んでおり、サンプラザが再開発、180メートルのビルが立つ予定で、2028年頃にバリアフリーにし、区役所の跡をどうするか検討されているようです。また、2万人もの外国の方がおり、ネパール人やベトナム人に対する政策が必要とのこと。

今回は木島庄市Lが訪問。中央大学が紹介のボウリングの仕事をなさっており、城東LCでは40年間欠席したことがないそうです。当クラブの例会日と同じなので、なかなか参加できないとのこと。白門ライオンズクラブが今回100ドル献金を蹴ったのはいいことであり、クラブが中心になり考え行動することが重要。上から言われても動かないのが大事なのだそうです。今、木島Lは運営改革室室長をなさっており、大学のクラブは大学を中心に考えるべきであると思われています。また、法人化については、90%の人が賛成しているそうです。法人化すると事務局の費用が安くなるとのこと。リジョンゾーンの再編成を考えておられ、35ゾーンを17リジョン40ゾーンにしたいそうです。50名以上のクラブは7クラブで、9名以下のクラブは47~48クラブあるそうです。東京にいるライオンズ

のメンバーは6,000人おり、その内3,800人が活動し、その中で指導者が足りないので、増やすようにしたいそうです。11万人のライオンズメンバーが日本にいるそうです。84歳には見えないうらい若い方です。

大久保Lの話。白血病患者1万人の内、治る方は2,000人。18~54歳までドナー登録が出来、30代男性が一番多いそうです。患者は放射線の治療を受けながらドナー適合者を待っています。ところが、いざ移植の段階になると10日前後かかり、都合がつかない人が多い為、ドナー休暇制度が必要であり、大久保Lがその手伝いをしておられます。多くの登録者と、体験談を語る人が必要とのこと。

池谷有紗さんの話。池谷さんは大学在学中の2013年のある日、体調の異常を感じます。最初の病院では何でもないといわれたが、皮膚に湿疹ができたため診療を受けたところ次の病院で白血病ではないかといわれ、紹介された総合病院の検査で急性リンパ性白血病と分かりました。池谷さん



▲木島Lのお話



▲木村L、お誕生日おめでとうございます! 名前(具成)の読み方は「ぐせい」ではなく「ともなり」で



▲大久保Lご紹介・ゲストスピーカーの池谷さんと3ショット!



毎日が貴重なプレゼント

病気が発覚したのは、6年前で大学3年生、21歳のときでした。体調が良くない日が続き、病院で検査をした結果、「急性リンパ性白血病」と診断され、すぐに治療を始めないと危険な状態と言われました。どうして私がそんなに大変な病気になるのかと大きなショックを受け、涙が溢れ出てきました。

1月末に入院し、急いで骨髄移植を行う必要があります、2月に骨髄バンクに患者登録を行い、ドナーさんを探すことになりました。幸い提供して下さるドナーさんが見つかり、5月にドナーさんが骨髄提供に同意されたという連絡があり、「これで死なずに済む、生きられるんだ」と感謝の気持ちでいっぱいでした。7月に骨髄移植を受け、その後6年が経過し、こうして元気に生活しています。

移植の前には前処置という、大量の抗がん剤投与と放射線の照射により、悪い造血幹細胞をすべて死滅させるという、つらい治療がありました。髪の毛がごっそり抜け、移植の3日前には腹部の激痛で、ベッドの上で痛みと闘っていました。しかし、移植の当日、不思議とその痛みが無くなりました。骨髄液の移植は腕から、点滴で行いました。

移植後は、薬の副作用で糖尿病に罹り、インスリンを注射するなど、しばらく治療が続きました。現在は改善されて治療は行っていません。

私にとって骨髄移植とは、死にかけて天に浮かんでいく自分の手を、顔も名前も知らないドナーさんが手を取って両親や友人のいる世界に引き戻してくれたような出来事でした。ドナーさんから、もう一度生きるチャンスを与えてもらったのだから、毎日が貴重なプレゼントだと思わなきゃいけないと考えています。病気が自分から奪っていったものに

いけがや ありさ ゲストスピーカー 池谷有紗さん

葛藤したり、未だそんな気持ちを覚えるときも正直ありますが、それでも前を向き、一日一日を大切に生きようと思っています。

ドナーさんは、3泊4日の入院で全身麻酔を行い、腰の骨の内部にあるスポンジ状の組織から太い注射針のついた注射器で骨髄液を吸い出します。検査や採取のための入院で10日ほど病院に行く必要があり、ご自分の休みを使い、採取後の痛みを耐えるなど、私のために協力していただき、いつも感謝の気持ちで絶えません。

ドナーさんに直接、感謝の言葉を伝えられませんが、移植後1年間に2回、手紙の交換ができます。お礼の手紙を送ったところ、返事をいただき、次のように綴られていました。

「生きていてくれてありがとう。あなたが生きていることを思い、私も生きていきます。」

この手紙は私の一生の宝物です。

はすぐに骨髄移植を希望。幸いだったのは、4カ月して骨髄バンクに登録した人の中から適合する骨髄を持つドナーが見つかり、移植を受けることができたことです。

就活を始めようとした時期の突然の難病宣告。池谷さんの頭の中は不安で真っ白になりました。だが、苦しい入院生活を乗り切り、ドナーに感謝の手紙を書きました。直接のやり取りはできないため、バンクを通じての手紙でした。それに対し、熊本在住の若い男性のドナーから、私が聞いていても涙が流れるような、素晴らしい返事がきました。それは、相手が明るく前を向いて日々を送っていることを感じさせ、生きる希望を与えてくれたそうです。

大学・学会情報は、駅伝予選会の話。大越Lが「4位から8位の範囲に入る。野球は國學院に勝つと優勝が決まりそうなので、その際には祝賀会をしましょう!」と話されました。

ホームカミングデーは3,000名の参加者がいました。44年卒700名の参加。ビルの中なので、仲間と巡り合えない。どこに誰がいるか分からない。けれど場所はよかったそうです。前日の文京区のシビックセンターの出席者を含めると5,000名弱ではないでしょうか。

白門ライオンズに寄付の依頼が来ていない為、今まで10万円寄付していましたが今回はしていません。この日もにぎやかな例会になりました。【L増淵 秀一・記】

2019年10月18日(金)～19日(土)

五大学親睦旅行例会 於 宮ノ下 武蔵野別館



合同旅行に先立ち行われた親睦ゴルフ大会は、箱根仙石原・仙石ゴルフコースにて小雨降る中をスタートしました。白門LCは伊東敏会長、星野紘紀L、廣澤洋二L、根岸清一会計、茂岡幹弥L、L境捷彦の6名で参加。台風20号の余波でバンカーは使用不可で、コースにかなり泥土が流入していました。連日、人海戦術で排除したそうで、フェアウェーは良い状態でした。

昼食後のハーフ、雨はほとんど降らず、ただシラフに入れると水を含み苦労しました。

優勝は新ペリアで桜門LC田中則雄会長、ベストグロスでした。廣澤L、星野L、根岸L、L境の4名は熱海に前泊、前夜祭で楽しい時間を過ごすも、翌朝は38号線が寸断されて通れず、厚木に戻り御殿場ICから仙石GCへ、おまけにナビに箱根湖畔CCを入れていたものでコース到着はスタート12分前、朝食抜きでプレーとなった廣澤Lは空腹大たたきました。

合同旅行は箱根宮ノ下・武蔵野別館にて開催、白門LCは11名参加。ゴルフ組6名、田口彰紀L、岡田孝子L、大越武雄L、河

野信之L、石村博義L、5大学で計37名参加。

18時から第一部がSPLC岩田護Lの司会で始まり、恒例のクラブ会長挨拶の後、SPLC会長代理藤原修三Lの閉会宣言で幕を閉じました。第2部はSPLC永田裕哉L司会、SPLC秋山巖L開会の挨拶4R3ZゾーンチェアパーソンSPLC大友敏夫郎Lウィ・サーブで始まりました。

武蔵野別館の山海の料理と箱根芸者のお姉さま方のお酌、踊りで大いに盛り上がるなか、ゴルフ大会の表彰式を行い、山浦元国際理事提供のディズニーリゾートペアチケットの優勝副賞も田中則雄Lがゲットしました。

五大学校歌斉唱はいつ聞いても素晴らしいですが、岡田孝子L指揮の中央大学校歌は一段と素晴らしかったです。台風20号の余波があるなか、SPLCとしても開催か否か判断が大変だったと思いますが、参加者も無事に到着し、大変良い合同例会でした。

ただ、各クラブとも旅行例会常連ライオンの参加者少なく、寂しい感じがしました。【L境捷彦・記】

2019年11月4日(月)

中央大学校歌を唄う会 於 鈴木誠元会長邸



11月の三連休の最終日、11月4日(月)第26回中央大学校歌を唄う会が鈴木誠終身理事長宅にて開催されました。

今回のお客様は、井上彰副学長、河合久国際経営学部長が参加されました。

中山正暉終身名誉会長ご夫妻、福原紀彦学長ご夫妻をはじめ、榎秀郎L、星野紘紀L、岩瀬順郊L、境捷彦L、廣澤洋二L、田口彰紀元会長、中西美子前会長他ライオンズメンバー、アトラクションメンバー、スタッフで40名超の参集。

第一部の食事会(PM1:00～2:50)は、美味しい日本料理とビール、日本酒、ワインの会食で、2階の室内に全員着席。当日はとても気持ちの良い快晴の天候で、いつも増しての心地良さの中にて一同に会し、始まりました。

鈴木誠終身理事長のご挨拶・司会進行にて開始。まずは、福原紀彦学長からの大学近況報告と硬式野球部長として15年ぶりの東都大学野球2019年度秋季1部リーグの完全優勝報告をいただきました。更に全日本大学選手権にての日本一への決意をお聞きしました。

昨年秋の校歌を唄う会で、入れ替え戦の必勝を願い、各人の気を入れた帽子(中山終身名誉会長揮毫)をお持ちいただきまして、今後の日本一に向けて、その帽子に更に各人の気を入れるということで、現場に届けていただくというご厚意をいただきました。

神宮球場での応援の呼びかけもいただき、15年ぶりの優勝祝賀会を品川プリンスホテルにて行うご報告もいただきました。

続いて、本日のお客様のご紹介が入りました。井上彰副学長、河合久国際経営学部長からご挨拶を頂きました。

そして我が中山正暉終身名誉会長のご挨拶と乾杯。奥様とは

お互いの父親同士が親友だったこと、地方議会議長から国会議員までいただいた投票数を一の単位まで暗記でご披露(細かな数字がいつも淀みなくすらすら! 感動!)

26回にいたるこれまでの感謝のお言葉を述べられました。硬式野球で大学日本一を目指すうえで「カンパイ」【完敗】はだめだということで「完勝」という乾杯の音頭で会食になりました。

宴たけなわの後、暫し休憩を入れて地下のバー&カラオケルームに全員移動。

第二部は、校歌を唄う会(PM3:00～3:50)。バンド演奏は、おなじみ中央大学スウィング・クリスタル・オーケストラOB。率いるは、MC & 指揮&ドラム・重松述史氏、今回はベース、サクソ&クラリネット、ピアノの4人構成でした。

歌はジャズシンガーの西村協氏、ソプラノ平岩佐和子氏。いつもながらの、演奏と歌声に酔いしれる最上の時間でした。

そして締めは櫻井俊宏Lのエールとリードによる応援歌と校歌を全員で全力熱唱。皆で気持ちよく唄いました。校歌を唄うと絆を感じますね。

大盛り上がりの中、さあ、ここから第三部のカラオケ大会(PM4:00～)。アルコールとおつまみ、スイーツ等がどんどん運ばれ、PM7:00過ぎまで、ほぼ全員のカラオケ披露が続きました。

鈴木誠終身理事長、奥様:鈴木順子L、本当にいつもいつもありがとうございます! スタッフの橘りえさん、中村和弘さん、中村節子さん、真嶋修慈さん、真嶋好佳さん、仲村尤子さん、入月真紀さん、いつもながら楽しい会を大変ありがとうございました!

大変お世話になりました。皆様、お疲れ様でした。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。 【L竹内 敬雄・記】

2019年11月6日(水)

第一例会報告 於銀座東武ホテル(芙蓉)

11月度第一例会が11月6日(水)、銀座東武ホテル(芙蓉)で行われました。横井第一副会長の軽快なゴングと洒落のきいたお話から始まり、来賓は中央大学戦略経営研究科・特任准教授の吉田愛先生(スポンサー榎L)が出席されました。

伊東敏会長の挨拶では、台風などの災害について自治体の必要性を話されました。

また、今例会では中野区副区長の白土純さん(スポンサー小平L)が入会され、会員がまた一人増えました。喜ばしいことです。

お誕生会では、大久保L、小平L、鈴木L、星野Lの4名がお祝いされました。

メンバースピーチではL増淵が、美術品オークションの極意という事で、オークションブック等を用いて上手な売買の説明をしました。

大学・学会情報では元会長・鈴木Lが、東都大学野球にて中大が2004年秋以来、30季ぶり25度目の優勝をした話で盛り上がりました。駅伝も頑張っしてほしいですね。

次回も、母校の嬉しいニュースがウィ・サーブに繋がることを期待しております！

【L増淵 秀一・記】



2019年11月20日(水)

第二例会報告 於銀座東武ホテル(B1)

テーマー徳永Lの爽やかな声で開会、横井弘明L開会のゴングで例会は始まり、伊東敏会長の挨拶では、「年末に向け席席が多くなりますがお酒には気をつけて。国際情勢を見ると、韓国が西方面とくっつく傾向にあり、その場合日本は非常に緊張した状態になります。本日の上田愛生様の講話には期待するところ大であります」と話されました。

お誕生会は新村雅彦L、82歳になりました。東京オリンピックまでは元気で頑張りますとコメントされました。新村Lのお元気さは東京の次のオリンピックも大丈夫ですね。

本日のゲストスピーカーは榎秀郎元会長のご紹介、九州から来会の上田愛生様です。大変素晴らしいレジメ「国家の存立と安全保障」「陸上国家から海洋国家」を基に約1時間講演いただきました。尚、奥様もご主人のお話を聞くのは初めてのことで、一緒に来会されました。上田先生のお知り合いでビジター森田良行様も水津正臣Lがお連れして拝聴されました。

講話は日本史縄文時代から説き起こし現代に至るまで順々と説き起こされました。ここに要約できるような内容では有りませんが、現況日本の単独防衛は不可であり、中立もありえない。日本のリーダーは現実を直視してどちらに付くか判断力を必要とする。韓国・北朝鮮・中国・ロシアが接近しつつある現在、日米同盟しかありえない⇒ポチといわれようが、「生きる」が大事と喝破されました。

尚、上田先生は将来自費出版の予定があるそうで、請うご期待です。

大学・学会情報は本日お休み。理事会報告が石村博義Lからあり、忘年クリスマス会参加とアンケート提出のお願いの件を報告されました。ファイブ・ドネーション発表は櫻井俊宏Lと大久保英彦L。今日も沢山のドネーションがあり、ドネーション118,000円、ファイブ1,000円、合計128,000円でした。

河野信之L、昨日は半袖ゴルフ、今日は長袖ゴルフと寒暖の差が激しいのでお身体大切に、とゴングを打ちました。【L境 捷彦・記】

国家の存立と安全保障 -日本の採るべき道-

上田愛生

1. 日本の歴史は、豊かな自然力の僥倖により生まれた天皇を頂く農耕文化国家である。
2. 一衣帯水の島国日本は、中華文明圏から離脱し、独自の文明を育み、「自然と人との和の文化」の下、「道理と徳の文明」の国となる。 ※欧米:「意志と力の文明」
3. 縄文以来「支配・被支配」構造のない、「権威(皇族) - 権力(施政者)」の二重構造の政治・社会体制の下、安定した国家として経緯した。
4. 個人・実力主義の欧米文化や中華文化とは異なる和の文化は、高く評価されるが、「共通の道義のない無法地帯である国際社会」を生き抜くには力不足。
5. 現国際情勢は、17世紀以来築き上げてきた国際法秩序が緩み、加えて民族性、宗教性が濃くなり、「力」が罷り通る最悪の状態。(Society5.0下の戦争態様?)
6. 島国日本の生きる道は、モノを造り世界と交易する「海洋国家」しかない。モノ造りを終点とした「日本列島改造論」から、「洋」を越えて交易活動の要あり。
7. 日本の国力⇒単独防衛は不可(年40兆円の軍事予算は不可)⇒同盟⇒価値感近似の国、「力」ある国、軍事的に共同機能の補填が容易な国との同盟⇒米国しかない???⇒ポチと言われようが、「生きる」が大事。

※人類社会には、①理想、②現実、③超現実世界がある。理想に偏るな!

2019年12月8日(日)

歳忘れホームパーティー 於 銀座東武ホテル (B1)



今回も歳忘れホームパーティーに、菊地・野崎が取材で参加させていただきましたので、ご報告させていただきます。

パーティーの第一部である12月第1例会が、横井弘明Lの高らかなゴングで始まりました。

伊東敏Lの会長挨拶から、榎秀郎Lによる表彰者の紹介です。今年は酒井正三郎水泳部部长・福原紀彦硬式野球部部长・野村修也陸上競技部部长・河合久自転車競技部部长が表彰。鈴木誠Lによる支援金贈呈、各部長がご挨拶をされました。

自転車競技部は、全日本大学対抗選手権自転車競技大会にて初の総合優勝という快挙を成し遂げました。河合部長の計らいで、山根将太主将(商4)と奥村十夢選手(商3)がユニフォーム着用で登場。山根主将からは、学員の皆様からの応援に対する感謝を、奥村選手からは4年生引退後の意気込みを語り、「引き続き応援よろしくお願いたします」と締めました。

つづいて各所ライオンズクラブのご来賓のご紹介ののち、中山正暉終身名誉会長によるウィ・サーブのご挨拶。

本日12月8日は今から78年前、日本海軍が真珠湾攻撃を開始した日とご説明され、戦争に対する無念さを熱く強く語りました。

ウィ・サーブのあと、岡本睦治元会長のゴルフ同好会会長ご勇退について、廣澤洋二Lから永年のライオンズクラブへの貢献に対する感謝のご挨拶・花束が贈呈されました。

第二部・懇親会のスタートです。みなさん美味しいお食事とともに賑やかにご歓談。今回のミュージックゲストはフォルクローレ(ラテンアメリカの民族音楽)グループ「ワイナマユ」。いずれも珍しい打楽器や管楽器、弦楽器で披露される音楽は温かく会場を包み込みました。

途中、アルマジロで作られたチャランゴという楽器を各テーブルに披露され、最後の曲ではライオンズメンバーも巻き込んだの大合唱。大いに盛り上がりました。

それから木村実牙男Lと茂岡幹弥Lのヒゲダンスでスタートしたオークションタイム。中山終身名誉会長ご夫妻による書・色紙、榎Lの刻字などから、今回は福原Lによる硬式野球部優勝記念ボールに中山終身名誉会長のサインが入った貴重なものまで。鈴木Lの太っ腹な落札価格に会場大拍手のシーンもありました。

そしてお待ちかねのラッキーカード抽選会！ 今回もハズレなしの豪華商品が並び、ドキドキ喜一憂を楽しんだ後は、櫻井俊弘Lの迫力のある指揮で中央大学校歌を斉唱。石村博義Lによるゴングが(2度目でしっかり)鳴り響き、会は終了しました。

今回もご招待いただき誠にありがとうございました。お土産でいただきましたシクラメンは社内に飾り、華やかな年末を過ごせました。

銀座東武ホテルを出た後、榎Lがご出展された刻字展を2人で鑑賞させていただきました。こちらもご招待くださりありがとうございました。
【L中川代理 菊地】

2019年12月18日(水) 第二例会報告 於銀座東武ホテル(芙蓉)

2019年12月18日(水)12月度第二例会銀座東武ホテルで開催されました。会場に入ると、そこにはなんと、落語寄席の高座台がドカンと置かれており、特別な例会だと感じました。

中央大学の都心移転へ向け順調に進んでいるという横井第一副会長の軽快なゴングが鳴り、例会は始まりました。

今回のビジターは、スポンサーが小平Lの渡邊秀康さんです。ゲストスピーカーの林家つる子さんの先輩で、もちろん落研OBでもあり、なんと岡田Lと同期の方でした。

今回の会長挨拶は珍しくとても短く、高座を配慮するものでした。

つづいて、ライオンズのモナークシェブロンアワードの表彰があり、大越L、境L、田口L、田尻L、中西L、松田Lが表彰されました。入会から15年間頑張った方に贈られる賞です。

お誕生会は横井L、榎L、中西L、土屋Lがお祝いされました。

いつもの例会の流れは、高座が始まると雰囲気ガラリと変わり、林家つる子さんがご登壇。

林家つる子さんは林家正蔵(こぶ平)さんのお弟子さんです。ダジャレの話や、メンバー達に、落語の上下を切ることの説明とともに実際に手を動かしながらの解説、実際に体験してみせます。「あそこの空き地に塀が出来たんだってねえ」「へえ」皆で唱え、さらに食べ物当てクイズなどいろいろ体験しました。面白く、何の話をするのか楽しみになりました。

場の雰囲気から何を話すかを決めるそうで、今回は「ケチの話」。アカニシの貝殻は固く、しっかりと蓋が閉じた状態ではなかなか開かないさまを、しっかり物を握って離さない人をあざけて「赤燗や」ということを勉強した。落語はとても面白く、良かったです。身体



を使ったいろいろな表現に驚かされました。物語は「片棒」でした。とてもよかったです。

大学・学会情報は、大学の移転が順調に進んでいることと、駿河台記念館が閉館すること、箱根駅伝では6位から10位に入る可能性が高いことが話され安心しました。

ドネーションでは榎Lが工夫され、年齢×100の金額でした。金額の工夫も大切だとしみじみ感じました。今例会も楽しく終わることが出来ました。【L増淵 秀一・記】

2019年12月20日(金) 中央大学硬式野球部 東都大学野球秋季リーグ戦優勝祝賀会 於品川プリンスホテル

品川プリンスホテルにて優勝祝賀会が開催されました。

当クラブのメンバー福原学長が部長をされている硬式野球部は、亀井主将在学中以来の15年ぶりに優勝しました。牧秀悟選手は最高殊勲選手・ベストナイン(二塁手部門)に、後藤茂基選手は最優秀投手・最優秀防御率・ベストナイン(投手部門)、五十幡亮汰選手はベストナイン(外野手部門)に選出されました。

なお、牧瀬選手は商学部3年生松本第一卒、佐藤投手は商学部2年生城西大城西卒、五十幡選手は法学部3年生佐野日大卒です。令和2年リーグ戦での更なる活躍を期待したいですね。

戦績は國學院に1敗したのみで完全優勝でした。通算、亜細亜大学と並んで25回目の優勝だそうです。

会場入口では硬式野球部OB・OG会会長末次利光さんのお迎えを受け、過日当倶楽部での講演のお礼を述べる事ができました。

福原学長・久野学員会会長他来賓挨拶のあと、足立南甲倶楽部会長の乾杯。そして3樽の鏡割で盛大な宴が開催されました。会場には宮井元監督の姿が見受けられました。

ライオンズクラブメンバーも鈴木理事長はじめ、多数のメンバーが参加しました。榎元会長は鏡割に参加、元気に槌をふりおろしていました。

ハワイより急遽帰国した巨人軍阿部選手が壇上に上がり祝辞を述



べる頃、宴は最高に盛り上がりました。いつの日か箱根駅伝でもこんな会が開かれたらと思いつつ会場を後にしました。

【L境 捷彦・記】

ご報告

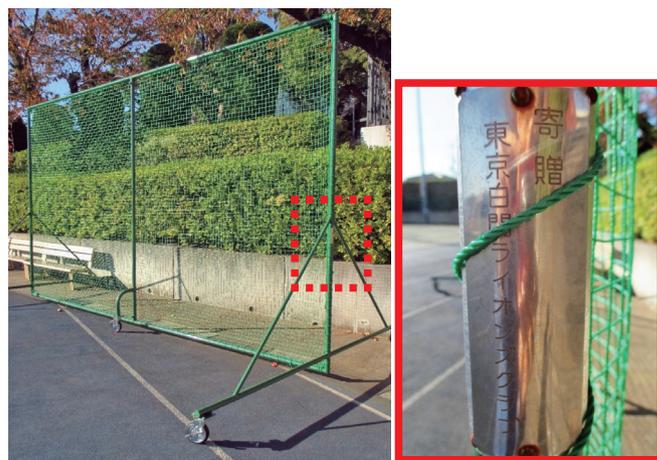
東京白門ライオンズクラブ 15周年寄付報告

結成 15 周年事業の一環として、中央大学附属高校および中学校 6 校に下記の施設を寄贈しました。学校行事や生徒さんたちの活動に寄与できると良いですね。生徒さんたちの喜ぶ顔が目に見えます。

中央大学杉並高等学校 組立テント



中央大学附属中学校・高等学校 防球フェンス (中学・高校各1台)



中央大学附属横浜中学校 木製回転式書架



中央大学附属横浜高等学校 ①ブックハング



②スチールブック トラック



中央大学高等学校 水道直結床置自動洗浄機能付の冷水機 (ウォータークーラー、水道直結床置自動洗浄機能付き)

冬休み中に設置予定です

第27回東京白門ライオンズクラブゴルフ会

令和元年11月12日（火）、第27回東京白門LCゴルフコンペが、埼玉県の飯能グリーンカントリー倶楽部にて行われました。午前9時50分、雲一つない晴天の下に初参加の富田優さん（岩槻白門会・増渕Lご紹介）を含めた総勢18名が集合。11月も半ばだというのに天気予報では最高気温23度の予想、若い茂岡Lと私は半そでのいでたち、気合が入っています（2人とも結果はトホホでした）。

今回から、岡本前ゴルフ会会長からバトンを引き継いだ廣澤Lが新会長に就任、廣澤新会長の朝のご挨拶を頂いてから競技説明がありました。70歳以上の方はシルバーティーが使用できるので、これからも暫くは廣澤新会長の時代が続くのではないのでしょうか。集合写真を撮り、10時6分、1組目の廣澤新会長の組から総勢5組がスタートして行きました。

午前中、どの組も前の組に遅れることなく順調にプレー、その後レストランに。皆、大人なのでスコアの話なんかはいたしません。40分のお昼を取り、また後半戦へと向かっていきました。

スタート時間が遅かったので日没が一寸心配でしたが、最終組の私たちも15時45分には上がることができ、明るいうちにプレーを終了できました。風呂で汗を流し、16時からパーティーと表彰式。

廣澤会長の開会のご挨拶と乾杯のご発声でパーティーが開始。本日お世話になりましたゴルフ場の大崎光二社長は中大のOBです。ご多忙のところをわざわざお越しくださり沢山の商品をいただきました。感謝です。

絶好のゴルフ日和を制したのは富田昌子さん。前回に続き、またまた女性です。43、45のグロス88、ネット65のぶっちぎりはお見事、しかもベスグロ！準優勝は佐藤茂さん、第3位も村山恵美子さん、女性の活躍が目立ちます。男性陣がんばれ！

富田さんに廣澤会長より菊のご紋入りの銀の優勝カップが手渡され、和やかに談笑していると、晩秋の日の入りは早く、辺りは真っ暗。倶楽部バスの時間もあるので、岩瀬元会長の一本締めにて楽しい会はお開きになりました。【L河野 信之・記】

会員の消息

◆ 12月退会ライオン

伊藤 尚L

平成25年入会以来、美声と素晴らしい会話力でメンバーを魅了した伊藤尚Lが業務多忙の為残念ながらこの度退会されました。機会がありましたら例会訪問お待ちしております。

◆ 新入会員紹介



市川 昇

遠距離会員（スポンサー榎秀郎L）
昭和39年4月13日生・平成元年法学部卒
中央大学東京世田谷区支部事務局次長
鈴鹿市市議会議員・企業地域振興コンサルタント
南甲倶楽部理事・中央大学協議員・白門三重支部幹事

編集後記

昨年度は、無事、白門ライオンズ15周年を終え、東都大学野球秋季リーグ戦優勝で年飾り、いよいよ、オリンピック・パラリンピック開催の年となりました。今号は、中山終身名誉会長、御寄稿頂きありがとうございます。御寄稿頂けるととてもありがたいです。また、今年も皆様からのご意見、ご感想、寄稿文など頂きたく存じます。宜しく願い申し上げます。

【L増渕 秀一・記】

Quarterly of Lions 2019.10-11-12 No.19

発行日 2020年1月31日

発行人 伊東 敏

編集／総務・広報委員会 増渕 秀一 井原 俊二 境 捷彦 大越 武雄

発行所 東京白門ライオンズクラブ

事務局 八王子市南大沢 3-14-4-304 TEL/FAX.042-676-4147

制作協力 株式会社 ノラ・コミュニケーションズ

白門ライオンズ会報 揮毫 中山 正暉L



2019.7 ~ 2020.6

白門ライオンズの誓い
我々は、会員相互の友情
の絆を基に、同窓・学員の
信頼を深め、知性の根源
である中央大学の発展に
寄与することを誓う。
東京白門ライオンズクラブ

クラブスローガン

白門の絆を奉仕で結ぶ母校愛

東京白門ライオンズクラブ

白門ライオンズクラブ 🔍

<http://hakumon-lions.org>